史上最悪の介護保険改定を許さない！！会

「史上最悪の介護保険改定を許さない！！」ための連続行動に皆さんの参加を呼びかけます。

2020年1月14日、「介護保険の後退を絶対に許さない！1・14集会」の折、衆議院第一会館第一会議室を満たした人々は、介護保険制度の見直しを求める機運を高めていこうと確かめあって全国各地へ散っていきました。しかしその直後から世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症が日本を襲い、感染症対策がすべてに優先される日々が始まりました。高齢者は人との接触を断つことを求められ、感染しても容易に医療にはアクセスできない状況が続きました。介護施設はクラスターに見舞われ、訪問介護は在宅に放置された要介護の感染者や濃厚接触者へのケアをも求められました。介護保険制度の改善に動き出す余裕のない日々が続いたのです。

一方国は次期介護保険改定に向け、着々と準備を進めてきました。コロナ禍で疲弊し、物価高に苦しむ高齢者の生活実態に目を向けることなく、利用者負担を倍にする、ケアプランを有料にするといったサービスの圧縮と利用者負担の増大につながる案を提示しました。予定通りに行けば、年末までに社会保障審議会介護保険部会の結論が出され、来年1月には閣議決定がされ、令和５年度（2023年度）の通常国会で成立されることになります。「史上最悪」の改正案を黙って成立させてはなりません。

まずはこの事実をみなさんに知ってもらわなくてはなりません。私たちは以下の理由で反対します。

**私たちは以下の改悪に反対します。**

１．自己負担2割を標準にするな

現状の１割負担でも経済的に苦しくサービス利用を削る人がいます。また認定を受けた25％の人がサービス利用に至っていません。2割負担を標準にすれば、多くの人が必要なサービス利用を減らす、最初からあきらめるなど、「保険あって介護なし」の事態が起きるのは火を見るよりも明らかです。

高齢者の貧困率は2割を超え、年金は減る一方、昨今の物価高で生活費は高騰しています。負担増よりむしろ負担減が必要な状況です。

２．要介護１・２の訪問介護、通所介護を地域支援・総合事業に移すな

要介護１・２は決して軽度者ではありません。介護サービス利用理由のトップである認知症がある人も、このランクの人々が最も配慮が必要な時期です。市町村による総合事業に移行すると、訪問型サービス従事者は数日間の研修受講で介護の提供が可能になり、適切な支援ができるとは考えられません。

また、要介護認定者に対する介護給付は保険者の義務ですが、「事業」は予算の範囲内で提供するのが原則です。ゆえに上限に達したらサービスを受けることができないことも起きえます。

そして、これまでの要支援者に対する「事業」は、提供者、従事者が不足し機能していない自治体が多いのが現実です。

３．ケアプランを有料にするな

ケアマネジャーが提供するケアマネジメントは、介護保険サービスの入り口です。入り口からお金がかかることで要介護認定を受けても介護保険を利用することへのハードルが上がるでしょう。また有料にすれば適切なケアプランを提案するよりも、利用者や家族に迎合するケアマネが増えることが懸念されます。

ケアマネジャーの役割は、介護サービス利用のためのプラン作成にとどまらず、孤立を防ぐ、虐待を防止する、在宅介護の限界を見極めるなど多岐にわたります。定期的な訪問により、介護が必要な人の心身の状態を確かめ、ケアプランの見直しなどを提案する、在宅・施設を通じて介護保険サービス提供の根幹となるものです。この過程で、医療・福祉・地域の社会資源との連携が必須のソーシャルワーク機能を果たす介護保険にとどまらない視点を求められる業務なのです。

４．福祉用具の一部をレンタルから買い取りにするな

「単価の安い福祉用具」をレンタルから買い取りに変えることは、用具の正しい使い方指導、個人に合わせた用具の調整や定期的な点検が失われることにつながります。また、レンタルであれば状態の変化で適切な用具に変更できたものが、不適切になった用具を使い続ける、不要になった用具が自宅にしまい込まれるなど、資源の無駄遣いが発生します。

５．施設にロボットを導入して職員配置を減らすな

今回の改定には具体的に入っていませんが、AIやIＣTの導入によって介護施設の職員配置基準を今の３対１から4対１にしようと、実証実験が始まっています。ロボット化を推進したからといって、配置基準を減らす理由にはならず、施設の人手不足に配置基準を緩和することで対応する奇策は許されません。現在でも離職率が高く人手不足に悩む施設介護の配置基準を減らせば、今以上に介護職員の負担を増し、介護の質の低下を招き、介護現場の労働破壊をもたらすでしょう。

このままでは要介護高齢者は安心して家にいることも、施設で安全なケアを受けることも、どちらもできなくなります。介護保険制度は施行以来、改定のたびに制度が複雑化し、使い勝手が悪くなってきました。このたびの「史上最悪」と言ってよい、制度を骨抜きにするような改悪を押しとどめましょう。利用者、家族、従事者、事業者など誰にとっても使いやすい介護保険制度にしていきましょう。

多くの方の参加をお待ちしております。

**行動予定**

・オンラインによる連続集会

第1回10月5日、第2回10月19日、第3回11月3日、第4回11月10日　19-21時

・院内集会および記者会見　11月18日14時-16時

・抗議声明の発出

署名活動　認知症人と家族の会　<https://www.alzheimer.or.jp/?p=52799>

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

なお上記のアクションに賛同団体および賛同人としてご参加下さる方は以下のフォームにご登録ください。  
<https://onl.tw/m52Vx9b>

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「史上最悪の介護保険制度改定を許さない！！」第1回オンライン集会  
～総論、利用者の原則2割負担とケアマネジメント有料化を中心に～  
<https://wan.or.jp/article/show/10259#gsc.tab=0>  
日時：10月5日(水）19：00～21：00  
オンライン(Zoomウェビナー）  
参加費：無料  
申込み：<https://saiaku-Kaigo.peatix.com>

YouTube配信

<https://www.youtube.com/watch?v=s-7b8TvEPV0&t=254s>

コーディネーター：小島美里(NPO法人暮らしネットえん）  
メインスピーカー：服部万里子(ケアマネジャー）  
発言者：上野千鶴子(認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク）  
　　　　袖井孝子(NPO法人高齢社会をよくする女性の会）  
　　　　鈴木森夫(公益社団法人認知症の人と家族の会）

　　　　柳本文貴（NPO法人グレースケア機構）  
そして参加者の皆さんからのご意見

Peatix申込み：　<https://saiaku-kaigo.peatix.com/view>

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「史上最悪の介護保険改定を許さない！！会」第2回オンライン集会

〜「要介護1、2の総合事業移行、福祉用具の買い取り」を中心に〜

日時：10月19日(水）19：00～21：00  
オンライン　(Zoomウェビナー）

YouTube配信 <https://youtu.be/MCf1HdjjtzY>

参加費：無料

コーディネーター：中澤まゆみ（ケアコミュニティ　せたカフェ）  
メインスピーカー：日下部雅喜（大阪社会保障推進協議会・ケアマネジャー）  
発言者：浜田きよ子（高齢生活研究所）

　　　　沖藤典子（NPO法人高齢社会をよくする女性の会）  
　　　　植本眞砂子（高齢社会をよくする女性の会・大阪）　　　　  
　　　　花俣ふみ代（公益社団法人認知症の人と家族の会）　　  
そして参加者の皆さんからのご意見

Peatix申込み：　<https://peatix.com/event/3377853/view>

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「史上最悪の介護保険改定を許さない！！会」第3回オンライン集会

〜介護施設の職員配置基準をICTで引き下げることはできない〜

日時：11月3日(水）19：00～21：00  
オンライン　(Zoomウェビナー）当日YouTube同時無料配信します  
参加費：無料

コーディネーター：池田徹（社会福祉法人生活クラブ風の村）

趣旨説明

メインスピーカー：本間郁子（Uビジョン研究所）

発言者：高口光子（元気がでる介護研究所）

坂野悠己（総合ケアセンター駒場苑）

小川泰子（社会福祉法人いきいき福祉会）

現場の介護職員　複数名

認知症の人と家族の会　活動報告＆署名活動アピール

まとめ：池田徹（社会福祉法人生活クラブ風の村）

そして参加者の皆さんからのご意見

Peatix申込み：<https://peatix.com/event/3385272/watch_stream>

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「史上最悪の介護保険改定を許さない！！会」第4回オンライン集会

医療・看護の現場から〜介護がなければ在宅医療はできない！〜

日程：11/10, 19-21時

オンライン　(Zoomウェビナー）当日YouTube同時無料配信

参加費：無料

コーディネーター：上野千鶴子（認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク）

発言者：

宮崎和加子（訪問看護師・NPO法人だんだん会）

中野一司（訪問医・医療法人中野会）

堂垂伸治（訪問医・どうたれ内科診療所）

畑中典子（薬剤師）

小笠原文雄（訪問医・日本ホームホスピス協会会長・小笠原内科在宅ケアクリニック）

花戸貴司（訪問医・東近江市永源寺診療所）

キャンナス訪問看護師1名

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

院内集会および記者会見

日時　11月18日（金）14時～16時

会場　衆議院第一議員会館　地下1階大会議室

1部　スピークアウト（事業者、ワーカー、研究者、家族、当事者、政治家）

２部　記者会見　司会：柳本・上野

１部

司会：根﨑・永井（NPO法人グレースケア機構）

趣旨説明：小島美里(NPO法人暮らしネット・えん）

介護保険、どこが危機か？：服部万里子（ケアマネージャー）

寸劇　藤原るか／伊藤みどり／佐藤昌子（訪問ヘルパー・訪問介護ヘルパー国賠訴訟原告）

富山からの発言　惣万佳代子（NPO法人この指とーまれ）／阪井由佳子（NPO法人デイケアハウスにぎやか）／高口光子（元気がでる介護研究所）

大熊ゆき（医療福祉ジャーナリスト・国際医療福祉大学院教授）

春日キスヨ（社会学者）

石井英寿（宅老所石井さん家）

佐々木淳（医療法人社団悠翔会理事長）

六車由美（介護職）

結城康博（淑徳大学教授・社会保障政策）

櫻庭葉子

利用者・家族：認知症人と家族の会から（署名キャンペーン・アピール）

抗議声明：樋口恵子（NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長）

参加者からの発言

２部　記者会見　司会：上野・柳本

問い合わせ：：[action@g-care.org](mailto:action@g-care.org)

FB <https://www.facebook.com/events/3315672832013464>

WAN　<http://wan.or.jp/>